

これは印刷仕上がりの確認用PDFデータです

実際にはトンボ（四隅の四角いトリムマーク）の内側で用紙を断裁して出荷いたします。

ピンクのガイド線は仕上がり位置、青のガイド線は文字切れ・デザイン切れの位置を示した線です。

本PDFの確認方法・ガイド線の隠し方などは下記をご確認ください。

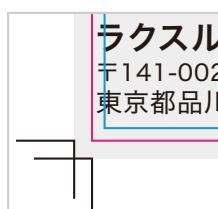
<https://raksul.com/guide/submit-data/preview-pdf/>



問題なし

仕上がり線、印刷保証線の外側に文字が無いので文字が切れる事はありません。

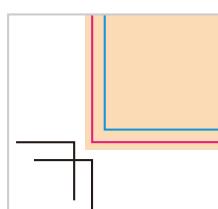
トンボの位置まで印刷データがありますので紙の端に余白ができる事はありません。



文字が切れる可能性があります

印刷保証線の外側に文字がありますので、

この例では、文字が切れる可能性があります。



紙の端に余白ができる可能性があります

トンボの位置まで印刷データが無いので、

この例では、紙の端に余白ができる可能性があります。



文字が切れます

仕上がり線の外側に文字がありますので、

この例では、文字が切れます。

— 仕上がり線 —

— 印刷保証線 —

— トンボ —

仕上がり線、印刷保証線、トンボの各線自体が印刷される事はありません

※ご注意点

- 本PDFは印刷仕上がりの確認用です。データ入稿にはご利用いただけません。
- データ内の斜めに記載の「Sample」の透かし文字は印刷されません。
- 入稿されたデータと間違いないか、解像度は問題ないか、ページ数やチフチの仕上がり、お客様自身の誤字脱字が無いか等をご確認ください。
- このデータで印刷して問題ない場合には、ラクスルのサイトに戻り印刷データを確定させてください。
- PDFに細線（細い線）が入っている場合には、<https://raksul.com/guide/pdf-saisen/>をご確認ください。

2024年

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください

私たち教職員の会は、臨時教員の皆さんのお願い・要望を集め、その実現に取り組んできました。

臨時教員として働いていて思うこと、教員採用や待遇についてのご意見、職場でのできごとなど何でも結構です。メール・FAXで声をお寄せください。

- ・採用審査会場や監督官の対応
- ・臨時教員不足で代わりの先生が見つからない
- ・非常勤講師の待遇
(時間外労働の実態、収入不足でアルバイトなど)

メールアドレス

tokushima.kyoushokuin22@gmail.com

徳島県教職員の会 web サイトで公開中

○昨年度の教員採用審査の結果 【臨時教員のページ→教員採用】

1次・2次の平均点、最高点、最低点、合格最低点

※一部未公開部分あり

○補充教員の未配置・遅配置調査結果

2023年1月～2月、徳島県全域の学校で実施。教員不足の実態が明らかに。

採用審査についてのアンケートを実施

ご協力お願いします。

右のQRコードからアンケートに回答してください。

7月末までにお願いします。



採用審査 がんばってください！



子どもと教育・くらしを守る徳島県教職員の会
(略称：徳島県教職員の会)

〒 771-0117 徳島市川内町鶴島 115 黄金ビル 1F 徳島労連内

TEL 088-665-6644 FAX 088-665-2117
090-6281-3705 (担当:井内)

私たち徳島県教職員の会は

教職員の権利を守り よりよい教育の実現をめざしています。

臨時教員の待遇や採用審査の改善を！

- 2004年 採用審査の基準などが公開
- 2011年 1次審査「教養」の問題持ち帰り可能に
- 2015年 厚生年金・健康保険の継続
- 2019年 採用審査を臨時教員は「職専免」で受審可能に
- 2020年 常勤講師の給与上限撤廃
任用期間の空白廃止など大幅待遇改善
- 2021年 受審者の年齢制限撤廃
- 2022年 一部の臨時教員対象に1次審査免除
- 2024年 一次審査早期化に反対

粘り強く要望し、実現してきました。

長時間労働をなくし、生き生きと働く職場を

- 全国の教職員組合などと共に、ネット署名に取り組んでいます。
- 県独自に教職員の増員を県教委に要望

給食費を無償に

- 県内の様々な団体と手をつなぎ、給食費無償化の運動に取り組んでいます。



教職員の会へのご相談・入会をお待ちしています。

会費：月額 900 円（臨時教員の方は 300 円）

1989 年に結成、こんな活動に取り組んできました。

定欠を減らし、正式採用を増やし 教員不足の解消を

- 採用予定者を大幅に増やすこと
- 採用予定者の決定を 9 月だけでなく、1 月以降に 2 回目を行うこと
を要請しています。



アンケートを行い声を集めています

- 県内の臨時教員の方から次のような声が届きました。一つ一つの声を大切にし、県教委へ声を伝え、要望書に反映させています。
(今年のアンケートは裏面の QR コードから)

○正規でも臨時でも同じくらいの仕事をしていることが多い。私自身も常勤講師であるが、担任をし、部活の顧問をし、生徒会の仕事をしており、正規の教員と変わらないような仕事をしている。帰るのが 20 時を超えるのが普通になってきた。教諭と講師を分けている以上、それなりに職に見合った仕事量を割り振ってほしいと考える。

○給料表を教諭と同じようにしてほしい。同じ仕事量なのにもらえる額が少ないとやる気が削がれる。このまま改善が見込めない場合は退職を考えている。

○生徒たちは本当に可愛くて、素直で、やりがいを感じることが多々ある。そんな魅力のある素晴らしい仕事がブラックと言われるのが辛いです。教師として誇りをもって、誰からも憧れられるような仕事にしていきたいので、今後改善をお願いします。

あなたの声を届けます